## 北陸地方整備局 企画部 技術管理課からのお知らせ

本紙投げ込みを以て解禁



Technical administration section, Planning department, Hokuriku Regional Development Bureau, Ministry of

Land Infrastructure, Transport and Tourism

# 「令和6年能登半島地震に係る総合評価落札方式」の取扱を見直します ~ 復旧・復興の推進と円滑な施工体制の確保に向けて~

能登の復旧・復興工事の競争性を確保するため、「能登方式」の運用を一時休止 し、「通常方式」へ移行します。

北陸地方整備局では、令和6年能登半島地震からの復旧・復興工事(3.4 億円以上)において、地元企業からなる「地域維持型JV」や「復旧・復興JV」の活用を促進し、被災地域に精通した地元企業を評価する「総合評価落札方式(能登方式)」を運用してきました。

現在、被災地では県や市町が発注する生活インフラの復旧工事が本格化し、地元企業は「地域の守り手」としてこれらの対応に尽力しています。一方で、国発注工事においては、競争参加者の減少傾向や入札不調が複数発生するなど、円滑な事業執行に課題が生じています。また、石川県においても入札不調の発生により、令和7年10月より入札参加要件の緩和(被災地外の県内企業、県外企業の参加)が実施されたところです。

こうした状況を踏まえ、復旧・復興工事の競争性を確保するため、国発注工事においては、地域 精通度を重視した「能登方式」を一時休止し、通常の総合評価落札方式(「通常方式」)を採用するこ ととしました。これにより、石川県外の単体企業の参入を促すとともに、単体企業とJVの双方が対 等に競争参加しやすい環境を整えるものです。

【適用】 令和7年11月27日以降に公告する能登の復旧・復興工事から適用

取 扱: 本紙投げ込みを以て 解禁

【同時FAX先】建設速報社 、新潟建設工業新聞社 、日刊建設通信新聞社 新潟支局 、日本工業経済新聞社 新潟支局 、日刊建設工業新聞社 北陸総局 、建設ジャーナル社 、産業新聞社 北信越支局 、鉄鋼新聞社 新潟支局 、北陸工業新聞社 新潟支局

【問合せ先】 国土交通省北陸地方整備局

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

℡(代表)025-280-8880

企 画 部 技術開発調整官 堀内 崇志 (内線3120) 総括技術検査官 佐々木 利幸(内線3117)

### 令和6年能登半島地震に係る総合評価落札方式の取扱の見直し(概要)

#### 1. 背景等

能登の復旧・復興工事(3.4億円以上)において、現在までにのべ56社の地元企業がJVに参画して復旧工事が進められてきたこと、また、地元企業が県市町の生活インフラ復旧への対応に追われる中で、国工事のJV参加者の減少傾向や入札不調が複数発生していること等を踏まえた措置です。

#### 2. 評価項目・配点等

- ① 評価項目・配点及び加算点の変更例 (一般土木 S型 (WTO 以外))
- ・企業の施工能力等の減点: これまで手厚く加点していた地域精通度(石川 県内本店)の10点を減らします。
- ・配置予定技術者の施工能力等の加点: <u>同種工事の施工経験、工事成績、優</u> 良工事技術者表彰等の配点を10点増やします。

#### ② 参加要件の維持

- ・入札参加要件として、**単体企業や地域維持型 J V、復旧・復興 J Vの枠組み は維持**します。これにより、**地域に精通した地元企業の活用や、技術者兼務** (最上位構成員を除く)など J V組成のメリットを引き続き活用可能です。
- ・①の取り組みと相まって、競争性の確保を図るものです。

#### ③ 総合評価方式の取扱

・総合評価落札方式の取扱については、競争参加者数や応札状況等を踏まえ、 状況に応じて、競争性が確保できるかを適宜検討していきます。

# 【通常方式】令和7年度 工事の総合評価落札方式 実施計画(案)

#### 総合評価落札方式のタイプ別評価項目、配点及び加算点(令和7年度下半期)

令和6年度 北陸地方整備局 総合評価審査委員会資料(令和7年2月27日)

工事技術的難易度 施工能力評価型 技術提案評価型 評価項目 11型 1型 WTO以外 WTO 標準 鋼橋上部 舗装工事 企業の施工能力等 15(14)(注9) 20 同種工事の実績 4 4(5)4 3 4(5)3 3 5 工事成績 ワーク・ライフ・バランス等推進企業 (注8) 1 1 2(1)(注9) 2(1)(注9) 成績優秀企業認定 1 1 1 1 1 1 1 優良工事における下請者表彰 1 1 1 優良工事表彰・安全管理優良請負者表彰 2 生産性向上技術活用表彰・ICT人材育成推進企業認定 国土技術開発賞 登録基幹技能者 地元企業活用・若手女性技術者配置(注3) 地域精通度・地域貢献度 4(3) 4 (3) 4 4 地域精通度 1 1(-) 1 1(-) 地域貢献度 橋梁補修工事の施工実績(耐震工事含む) 北陸地方整備局管内に自社製作工場を保有 2 2 同種工事の施工経験 3 5 5 3 5 4 6 同種工事の施工経験の立場 2 2 2 2 2 同種工事の地域精通度 1 1 1 1 1 1 舗装施工管理技術者資格の有無 優良工事技術者表彰等 3 3 3 3 3 3 継続教育 (CPDS) の取組状況 施工計画又は技術提案課題 加算点合計 40 40 50 50 50 60 60 40

- ・評価項目で該当が無い場合は、削除する。なお、その場合は、合計点が下がる。 ・特定専門工事審査型は別途配点とする。
- (注2)
- (注3) (注4)
- (注5)
- ・特定専門工事審金型は別途配点とする。
  ・般主本工事の場合、此元企業活用は3億円以上、若手・女性技術者配置は6千万円以上2億円未満が対象となる。
  ・舗装工事(Aランク)の場合、企業の施工能力等の「地域精通度」は、評価対象外とし、同種工事の施工実績は( )書きの配点とする。
  ・建築工事、電気設備工事、暖冷房衛生設備工事等は、「成績優秀企業認定」、「優良工事における下請者表彰」を適用しない。
  賃上げ実施による加算点は、加算点合計の5%以上となるように設定する。(例:加算6計40点の場合 3点/(40点+3点)=6・技術提案評価型A型は、『国工交通省直轄工事における総合評価運用ガイドライン』による。 3点/(40点+3点)=6.98%≧5%)
- は、加美には、 は病性薬評価型料型は、『国土交通省直轄工事における総合評価適用ガイドライ 一般土木及び建築工事の本官工事は、評価内容が一部異なるため留意すること。
- (注8)
- ・WTO対象で、一般土木及び建築工事以外の工事は()書きの配点とする。

#### 【能登方式】令和7年度 工事の総合評価落札方式

総合評価落札方式のタイプ別評価項目、配点及び加算点(令和7年度下半期) 会和7年度下半期における 「令和6年能登半島地震に係る 北陸地方整備局 総合評価落札方式| 配点(項目)基準

総合評価審査委員会資料(令和7年2月27日) 舗装 単体、復旧·復興JV 単体、復旧·復興JV 単体、地域維持型JV 単体、復旧·復興JV 単体、地域維持型JV 分任官特例 分任官特例 分任官 分任官特例 分任官 低い 工事技術的難易度 低い-工事技術的難易度 - 高い 工事技術的難易度 技術提案評価型 ||型 Ⅰ型 ||型・(|型) Ⅱ型 1型 WTO以外 WTO 一般土木C 一般土木B+C 舗装B 銷装A その他工種 その他工種 段階選抜 段階選抜 段階選抜なし 工事成績 ライフ・パランス等推進企業 \*\* 成績優秀企業認定 優良工事における下請者表彰 優良工事表彰・安全管理優良請負者表彰 生産性向上技術活用表彰·ICT人材育成推進企業記 国土技術開発賞 登録基幹技能者 地元企業活用・若手女性技術者配置 域精通度 (本店所在の有無) 地域貢献度 橋梁補修工事の施工実績(耐震工事含む) 同種工事の地域精通度 舗装施工管理技術者資格の有無 工事成績 優良工事技術者表彰等 工種毎に設定 工種毎に設定 地整管内 ○○地域

地域精通度 ※1:単体もしくは、共同企業体のいづれかの構成員が、奥熊登・中能登土木管内における本店の所在有無 ※2:単体もしくは、共同企業体のいづれかの構成員が、石川県内における本店の所在有無 ※4:一般土木及び建築工事の本官工事は、評価内容が一部異なるため留意すること。 ※5:WTO対象で、一般土木及び建築工事以外の工事は ( ) 書きの配点とする。

同種工事の地域精通度 ※3:石川県内における施工経験の有無

令和6年度 北陸地方整備局

- 〇工事場所は、石川県内に限る。

- ○建築の本官工事の場合、一般土木の本官工事の配点と同様とする。 ○舗装で I 型発注する場合、施工計画又は技術提案課題の配点は( )書き内の配点とする。 ○その他工種のうち、銅橋上部の場合、地域精通度、地域貢献度、橋梁補修工事の施工実績(耐震工事含む)及び北陸地方整備局管内に自社製作工場を保有の配点は( )書き内の配点とする。
- 〇一般土木(ランク工事は、企業と技術者の実績に係る競争参加資格要件を緩和することを基本とする。 〇WIO対象工事は、段階的選抜方式を活用することを基本とする。 〇WIO対象工事は、特記仕様書で、「施工技術(新技術)の活用とPRに関する工夫」について求める。